

英語 (筆記) [高1生部門]

英文から情報を短時間での確に読み取る力を身に付けよう

I. 全体講評

今回の全国統一高校生テスト [高1生部門] の英語 (筆記) の平均点は 46.4 点だった。この模試は、今年の 2~3 月に実施された「大学入学共通テスト導入に向けた試行調査 (プレテスト)」の問題をモデルにして作成したものである。現行のセンター試験とは異なり、単独での発音・アクセント問題や文法問題の出題はなく、読解問題が中心となっている。

大問別の結果を見ると、最も得点率が高かったのは第3問で 65.9%、最も低かったのは第6問となっている。問題量も多かったため、最後までしっかりと読み切れなかった生徒も多かったのではないだろうか。また第2問の得点率も 47.6% と 5 割を割り込んでいる。特に第2問 A の問4の事実と意見を整理する設問は新しい傾向の問題で題意が読み取れ

ず、解答に戸惑った生徒も多かったようであり、得点率も 8.9% と極めて低かった。新テストではこのような critical thinking (批判的思考) が求められるようになっていこう。日頃からいろいろなタイプの英文に接することで、情報を短時間での確に読み取る力を養成していこう。

II. 学習アドバイス

◆ボキャブラリーを強化する

単語・熟語の習得は英語学習の基本であり、繰り返し学習することで確実に身につけてくるので、基本的な語彙の学習はできるだけ早期に終わらせよう。大学入学共通テストではヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR (Common European Framework of Reference for Languages) というガイドラインに沿って出題される予定なので、参考にしてほしい。

◆文法を早めに仕上げる

出題形式が変わっても文法の修得は必修である。高1の段階で文法の学習を一通り終えることが最優先課題となる。まずは基本的な文法事項に絞って学習し、できるだけ早く全体像をとらえておこう。

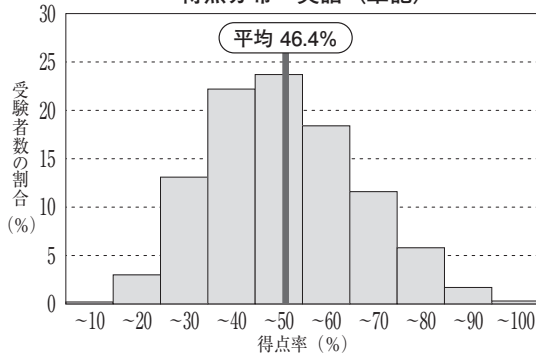
◆いろいろな素材に慣れる

大学入学共通テストでは記事や広告、ブログなどいろいろなタイプの文章が出題される可能性がある。それぞれの文章にはよく使われる用語やそれに合わせた読み方があり、文体に慣れておくことで読むスピードも上がってくる。英語の web 記事などを読んだりするのもいい練習になるであろう。

◆文章構成を読み取る

文章には筆者が伝えたいことがあり、それをどのような形で表現しているか、常に文章構成や段落構成を考えながら読むことが大切である。テーマは何か、比較対象の共通点や相違点、ストーリーの展開や時間の流れなどを簡単にノートにまとめる癖をつけていきたい。

得点分布 英語 (筆記)



大問別得点率 (%)

